

三浦教育振興財団設立35周年記念行事 教育長祝辞

令和7年11月16日（日）

ANAクラウンプラザホテル松山

公益財団法人 三浦教育振興財団の設立35周年、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

また、三浦良子代表理事をはじめ、御臨席の皆様方には、日頃から、本県教育行政の推進に多大の御支援、御協力をいただいております、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、公益財団法人 三浦教育振興財団は、平成2年に、三浦 保氏が、三浦工業株式会社の設立30周年の節目に、優れた才能と自ら学ぶ意欲を持ちながら、経済的理由により修学困難な学生・生徒を支援し、社会に有用な人材の育成を通して、地域社会、国際社会に貢献をされたいとの思いから、創立されたと伺っております。

以来、令和6年度末現在で、奨学生1,270名を採用され、子供達の学びたいという心に寄り添い、奨学金給付のほか、財団の特徴である奨学生を対象とした国内及び海外における研修旅行を実施し、社会で活躍する人材の育成に多大の貢献をされております。

ここに、三浦 保氏をはじめ、歴代の理事長、代表理事、役員、評議員、奨学生選考委員の皆様方の長年にわたる御熱意と御努力に対し、深く敬意を表します。

三浦 保氏は、三浦工業株式会社社員の皆様方に、「嘆かないで実行する 悔やまないで前進する 心配しないで工夫する」との言葉を遺されたとお聞きしております。この言葉のように、気持ちの切り替えをして、前向きに行動できる人材を育てることは、人々の価値観やライフスタイルが多様化する現代社会において、不測の事態に動じることなく、自らの発想と能力で困難を乗り越え、地域社会の良き創り手として貢献できる人材を育成することにも繋がることと存じます。

県教育委員会におきましては、グローバルな視野を養う教育や郷土愛を養う教育などを推進するとともに、今年度からは、助成対象を「教育の振興」分野まで拡大していただいた「三浦保」愛基金も活用し、未来へ羽ばたく人材の育成に一層取り組んでまいりたいと考えております。

本日は、財団の奨学金の給付を受けて卒業された皆様及び、現在、給付を受けている皆様も出席されております。卒業された皆様は、それぞれの分野で一層御活躍されますよう、また、奨学生の皆様は、自己研鑽を重ねて、将来、各界各層で御活躍されますよう期待しております。

結びに、公益財団法人 三浦教育振興財団の益々の御発展と御出席の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。